

## 令和3年度実験動物1級技術者資格認定試験に関する重要なお知らせ

令和3年度実験動物1級技術者資格認定試験については、9月18日（土）に学科試験を実施し、その合格者等を対象に10月31日（日）に実技試験を行います。

今年度の実技試験については、新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、従来の形式とは異なる生体を使わない多肢選択式及び記述式で実施いたします。試験内容は、従前の生体を使った実技試験と同じく、必須のマウス及び学科試験の各論で選択した動物種のうち1種の計2種を対象に、動物の飼育管理、取扱い及び動物実験手技（投与、採血、麻酔、手術、解剖など）等に関する事項について行います（日動協HPの「過去の試験問題」（実技試験概要）<http://www.nichidokyo.or.jp/pdf/siken/1/gaiyou.pdf>を参照のこと）。

なお、これまで生体を使った形式であったことから、新しい形式（暫定）のイメージがつかめない受験者もいることとしますので、下記に類似形式の問題例を掲載します。

令和3年7月

（公社）日本実験動物協会事務局

### 記

#### 【多肢選択式問題例】（診療放射線技師国家試験、動物看護師統一認定試験）

問) 膝のMRI検査前の準備として適切なのはどれか。

1. 患者の両手は腹部で組んだ状態とする。
2. 膝用コイルのケーブルが長い場合はループ状に配置する。
3. 膝以外の場所に湿布薬を貼っている場合は剥がさずに検査する。
4. 両側の太腿が直接接触しそうな場合は間にクッションをはさむ。
5. 条件付きMRI対応ペースメーカーを植え込んでいる場合は制限なく検査を行ってもよい。

問) 写真に示す犬のうち、牧羊犬として作出された犬種はどれか。

1. (ボーダーコリーの) 写真
  2. (ゴールデンレトリバーの) 写真
  3. (ビーグルの) 写真
  4. (ボストンテリアの) 写真
  5. (トイプードルの) 写真
- \*各選択肢とも写真は割愛

#### 【記述式問題例】（日本核医学専門技師認定試験、1級建設機械施工技術検定試験）

問) FDG・PET撮影従事者はFDG薬剤投与後の患者から放射線被ばくを考慮しなければならない。従事者の被ばくを低減させるための方策を論述せよ。

問) 寒中コンクリート、暑中コンクリート及びマスコンクリートの養生にあたっての留意事項をそれぞれ記述しなさい。

問) 建設機械を用いる工事において、建設機械の騒音低減対策のため、次の①～③の項目について、留意すべき事項を具体的に記述しなさい。

- ①建設機械の選定
- ②建設機械の運転操作
- ③施工上の対策(建設機械の運転操作を除く)